

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、当期に帰属する見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額から、中退共からの支給額を控除した金額を計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	130,569,220	208,000,000	130,006,678	208,562,542
投資有価証券	835,230,780	6,678	78,000,000	757,237,458
小 計	965,800,000	208,006,678	208,006,678	965,800,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,979,688	1,451,860	0	9,431,548
翌年度前期事業運営積立預金	80,000,000	80,000,000	80,000,000	80,000,000
事業運営安定化基金	142,000,000	100,000,000	142,000,000	100,000,000
減価償却引当預金	19,004,387	0	0	19,004,387
小 計	248,984,075	181,451,860	222,000,000	208,435,935
合 計	1,214,784,075	389,458,538	430,006,678	1,174,235,935

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
預金	208,562,542	(0)	(208,562,542)	(0)
投資有価証券	757,237,458	(50,000,000)	(707,237,458)	(0)
小 計	965,800,000	(50,000,000)	(915,800,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	9,431,548	(0)	(0)	(9,431,548)
翌年度前期事業運営積立預金	80,000,000	(0)	(80,000,000)	(0)
事業運営安定化基金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
小 計	189,431,548	(0)	(199,004,387)	(9,431,548)
合 計	1,155,231,548	(50,000,000)	(1,114,804,387)	(9,431,548)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	13,122,201	4,474,070	8,648,131
什器備品	32,724,756	22,562,475	10,162,281
ソフトウェア開発費	37,908,165	34,805,582	3,102,583
合 計	145,597,249	83,755,122	21,912,995

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債及び政府保証債	757,237,458	822,853,593	65,616,135
合 計	757,237,458	822,853,593	65,616,135

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	700,000
合 計	700,000